

注意：内容は実際のスピーチをご参照ください。

日・プロイセン修好通商条約調印150周年記念式典
松本副大臣ご挨拶

皇太子殿下

ノイマン・ドイツ連邦共和国首相府国务大臣

シュタンツェル・駐日ドイツ連邦共和国大使

ご列席の皆様

日プロイセン修好通商条約調印150周年記念式典に際し、日本国政府を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

日独交流150周年がいよいよスタートし、今年、日独両国で様々な記念行事が行われています。日本側名誉総裁に皇太子殿下、ドイツ側名誉総裁にヴルフ大統領にご就任頂き、両国外務省の連携の下、日独両国は、官民を挙げて、交流強化に努めているところです。

本日は、ちょうど150年前に江戸幕府とプロイセンの間で修好通商条約が締結され、両国の友好関係が正式に始まった記念すべき日であります。

その後、150年間にわたり、日独両国は、互いに対する敬意と親近の情を基礎に、相互に多くを学び、友好関係を育んできました。

明治時代には、岩倉使節団が欧米を訪問し、ドイツからは法律、学術、芸術等の諸分野で多くの知識を吸収して帰国しました。その後も学問を志す多くの若者や、医学を始めとする諸分野の研究者がドイツに渡り、学問や研究に励んできました。我が国が「国を開く」にあたり、ドイツは重要な役割を果たしたのです。

一方、ドイツにおいて、日本も、戦後、ドイツと同じく復興と発展を遂げた経済大国として、あるいは豊かな伝統文化や、最近ではマンガやアニメといったポップカルチャーの故郷として、親しみと敬意をもたれていると承知しております。また、我が国は近年、ノーベル賞受賞者を輩出する科学技術大国として、ドイツ始め欧米諸国にも少なからぬ影響を与えるに至っています。

現在、日独両国は、基本的価値を共有するグローバルなパートナーとして、核軍縮・不拡散、気候変動を始めとする環境問題、世界経済、安保理改革、アフガニスタン復興支援といった国際社会の共通課題の解決に向けて、緊密に連携しています。このように成熟した日独関係ですが、まだ協力を拡大する余地があると思っています。その一つが、日欧の経済連携強化に向けた協力です。

我が国は今、「経済外交」を外交の中核に据えて進めています。我が国が直面する諸課題の中で、今後も活力ある経済を維持し、国力を発展させ続けることが、一番の優先課題だからです。またそのようにしてこそ、世界の平和と安定に一層貢献できる外交を追求できると考えます。

「経済外交」推進のポイントは「国を開く」ことです。世界情勢が「歴史の分水嶺」とも言うべき大きな変化に直面する中、明治維新、戦後に次いで、三たび「国を開き」、主要な貿易相手国・地域との包括的な経済連携を強化していかなければなりません。

こうした中で我が国は、昨年11月に決定された「包括的経済連携に関する基本方針」及び菅総理の年頭所感でも明言したとおり、主要な貿易相手の一つであるEUとのEPAによる経済連携の強化を望んでいます。日EU・EPAは、日EU経済関係や日EU全体の関係強化の観点のみならず、貿易・投資・雇用・開発投資など、独経済における日本の位置づけにかんがみ、日独関係の強化の観点からも必要であり、そのために、EUの主要国であるドイツとも一層協力していけるのではないかと考えています。

また、「国を開く」上では、観光立国の推進も重要な柱になります。ドイツから日本を訪れた観光客は、2009年には約5万6千人でしたが、同じ欧州諸国である英国の約11万人、フランスの約9万人と比べ、まだ大きく伸ばす余地があると思っています。「日独交流150周年」を機に、ドイツにおける日本への関心が高まり、もっと多くの観光客が訪日することを期待しています。

人的交流の促進という面からは、明治時代に我が国の若者が、学問への情熱に燃えてドイツを志したように、今日、次世代を担う両国の青少年が、もっとお互いの国に関心を持つことも重要です。本日のオープニングにも、東京横浜ドイツ学園やそのパートナー校の生徒が参加し、また日本の小・中学生がドイツをモチーフに描いた絵画が展示されています。「日独交流150周年」が、子供や学生、あるいは若手研究者や社会に出たばかりの若者にとって、もっと相

互に関心を持ち、交流を深めていくきっかけとなることを期待しています。

日独交流150周年では、今後一年間を通じて、様々な記念行事が開催されます。交流年は、様々なイベントを企画・運営し、あるいは支援して下さる多くの団体、個人の皆様に支えられて実現するものです。この機会に、日独交流150周年を支えて下さる全ての皆様に、心から感謝を申し上げたいと思います。微力ながら、私も力を尽くす所存です。是非、多くの皆様に積極的にご参加頂き、一緒に、交流年を盛り上げていくことを希望します。

ご清聴有り難うございました。